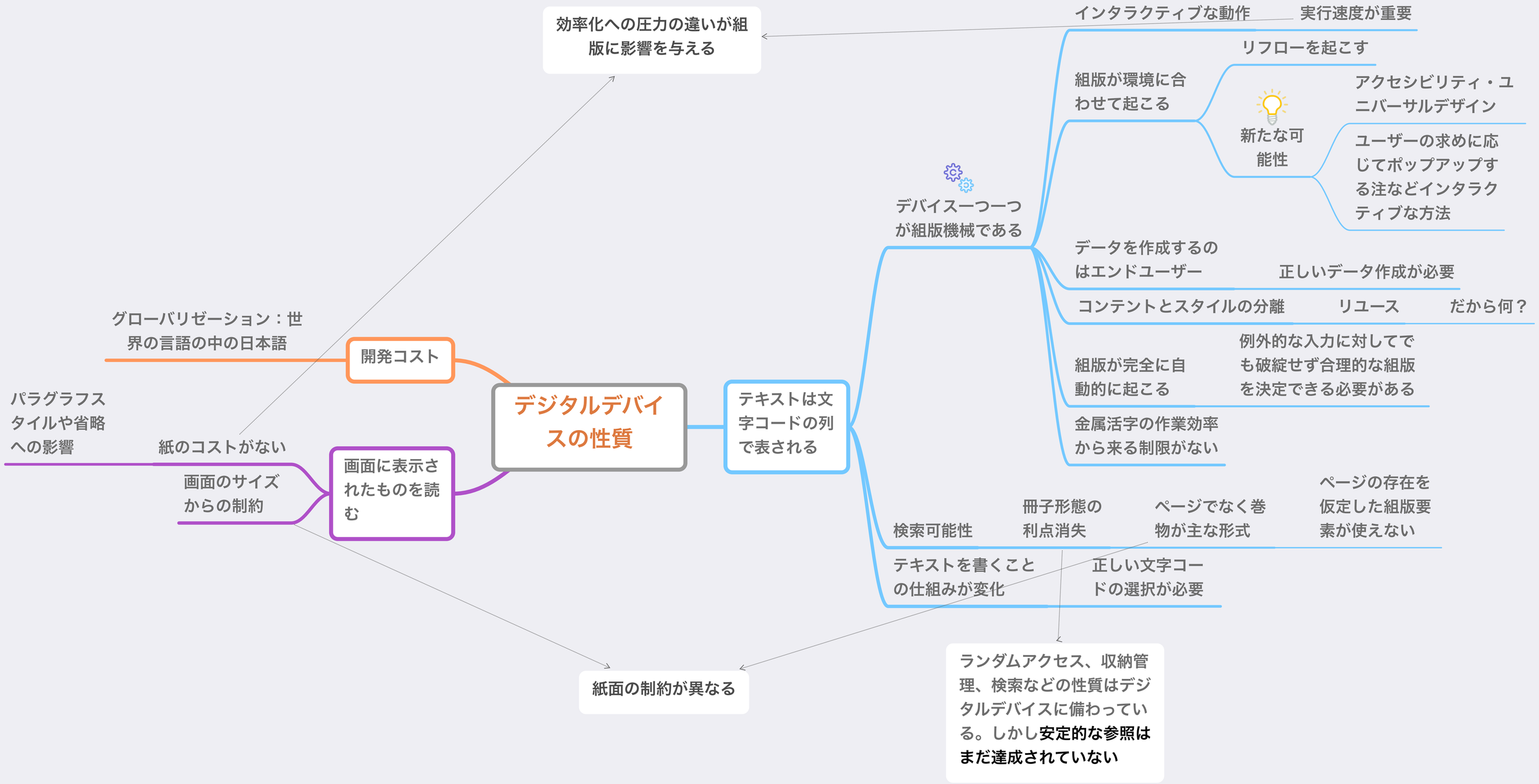
デジタルデバイスの性質
開発コスト
グローバリゼーション：世界の言語の中の日本語
画面に表示されたものを読む
紙のコストがない
パラグラフスタイルや省略への影響
画面のサイズからの制約
効率化への圧力の違いが組版に影響を与える
紙面の制約が異なる
テキストは文字コードの列で表される
デバイス一つ一つが組版機械である
インタラクティブな動作
実行速度が重要
組版が環境に合わせて起こる
リフローを起こす
新たな可能性
アクセシビリティ・ユニバーサルデザイン
ユーザーの求めに応じてポップアップする注などインタラクティブな方法
データを作成するのはエンドユーザー
正しいデータ作成が必要
コンテントとスタイルの分離
リユース
だから何？
組版が完全に自動的に起こる
例外的な入力に対してでも破綻せず合理的な組版を決定できる必要がある
金属活字の作業効率から来る制限がない
検索可能性
冊子形態の利点消失
ページでなく巻物が主な形式
ページの存在を仮定した組版要素が使えない
テキストを書くことの仕組みが変化
正しい文字コードの選択が必要
ランダムアクセス、収納管理、検索などの性質はデジタルデバイスに備わっている。しかし安定的な参照はまだ達成されていない